



Little Diamonds

23

No.

2007年4月21日
発行：浦和レッドダイヤモンズ

YOUTH

プリンスリーグ2007始まる。 2戦ドローでスタート



JFAプリンスリーグU-18関東2007が4月8日(日)から開幕した。レッズユースは初戦をホームで八千代高校(千葉県)と、第2節をアウェイでFC東京U-18と行い、いずれも引き分け。2試合ともに先行され、追いつく粘りを見せた(第1節の記録、写真は4面に掲載)

2度のピハインド 追いつく

(4.15 / F東京U-18戦)

4月15日(日)東京ガス武蔵野苑多目的グラウンドで行われた、第2節・FC東京U-18戦は、押され気味の中、2点を先行される滑り出し。前半40分に山田直輝がFKを直接、後半9分にCKから濱田水輝がヘディングでゴールを決めいったん追いついたが、逆転できないまま18分に2-3とされる。32分に林のゴールで再び点を奪えないまま終了した。

プリンスリーグ 第2節	
2007.4.15(日) 11:00	
東京ガス武蔵野苑多目的グラウンド	
FC東京 U-18	3 前2 後1 VS 前1 後2 3 浦和レッズ ユース
GK	柴田大地
DF	丸山和男 (濱田水輝) 山地翔 永田拓也 菅井順平
MF	高垣大樹 (石沢哲也) 矢部雅明 山田直輝 高橋峻希 (原口元気)
FW	武富尚紀 (林 容平)
得点	山田直輝(40分) 濱田水輝(54分) 林 容平(77分)



前半40分、FKを直接決めた山田直輝

石沢哲也



永田拓也



矢部雅明



林 容平

JFAプリンスリーグU-18 関東 2007 浦和レッズユース 対戦スケジュール

節	月日	対戦相手	時間(予定)	会場
3	4/22(日)	流通経済大学付属柏高校	13:30	熊谷スポーツ文化公園多目的G
4	5/3(祝木)	鹿島アントラーズユース	13:30	東京ガス武蔵野苑多目的G
5	5/6(日)	湘南ベルマーレユース	13:30	産業能率大学G
6	5/13(日)	前橋商業高校	13:30	前橋育英高崎G
7	5/20(日)	浦和東高校	11:00	熊谷スポーツ文化公園多目的G
8	7/1(日)	桐光学園高校	11:00	熊谷スポーツ文化公園多目的G
9	7/8(日)	佐野日本大学高校	13:30	壬生町総合公園陸上競技場

順位決定戦(会場・時間未定)7月14日(土)、16日(祝月)

* JFAプリンスリーグU-18関東2007: U-18年代の高校、クラブの関東地区の強豪20チームが参加する大会。10チームずつ2グループに分かれて1回戦総当たり方式で戦い、各グループの順位に従って順位決定戦が行われる。上位4チームは高円宮杯全日本ユース選手権出場資格を得る。また来季からプリンスリーグが1部と2部に分かれ、今季1-12位のチームは来季のプリンスリーグ1部に、13-16位のチームは同2部に出場する。

関東U-15リーグも引き分け発進、



後半7分、先制ゴールを挙げて喜ぶ鈴木大輝

今シーズンから設立された第1回関東ユース(U-15)リーグが4月15日(日)に開幕。レッズジュニアユースは、レッズランドにジェフ千葉・習志野を迎えて初戦を行った。後半7分に鈴木大輝のゴールで先制したレッズだが、1分後に同点弾を浴び、その後は優勢に試合を進めたが、勝ち越し点は挙げられなかった。

前半、相手の勢いに押され、良い形でシュートまで持ち込む回数が少なかったが、後半は一对一の場面で負けず、両サイドによくボールが回った。

(2~3面の写真はすべてU-15リーグ、ジェフ千葉・習志野戦)

中島聡志



小出啓太

鈴木悠太



町山阿記(左) 岡本拓也



若井祥吾

矢島倫太郎

広瀬健太



第1回関東ユース(U-15)リーグ 浦和レッズジュニアユース対戦スケジュール

節	月日	対戦相手	時間(予定)	会場
2	4/22(日)	横浜マリノス新子安	13:00	マリノスタウン
3	5/3(木)	図南FC	10:00	前橋陸上競技場
4	5/5(土)	川崎フロンターレ	10:00	レッズランド
5	5/13(日)	東京ヴェルディ	10:00	レッズランド

*関東ユース(U-15)リーグ:今シーズンからスタートした大会。U-15年代の関東の強豪12チームが参加する(クラブチームのみ)。参加資格は過去数年の諸大会の成績から割り出された。前期(4~5月)は6チームずつ2グループに分かれて1回戦総当たりのリーグ戦。後期(9~10月)は前期の成績により上位6チームと下位6チームに分かれて1回戦総当たりのリーグ戦を行う。レッズはAブロックに所属。なお、関東ユース(U-15)リーグ参加チームは、日本クラブユース(U-15)杯全日本ユース(U-15)選手権の県予選が免除される(関東予選から出場)

どこまで成長できるかが楽しみ

監督・名取 篤

3月は招待大会がいろいろありましたが、いかがでしたか。

名取 いろいろな下部組織が集まってくる大会で、他のチームもそうですけど、うちのチームも成長しているかなと思いました。

新1年生、2年生でもAチームに絡んできそうですか。

名取 いますよ。1年生に関しては体作りというか、ピッチの広さやゴールの広さに慣れなければいけません。夏前には何人かは。

ジュニアユースの中でも学年関係なく競争というのは当たり前という感じになっていますね。

名取 2、3年前までは3年生中心ということはありませんでしたが、去年、一昨年からそうってきていますね。それは今年の3年生も感じている

と思います。

今年はU-15関東リーグがあります。

名取 第1回大会に参加できるということは非常に恵まれているというか、これまでの選手たちの成績のおかげだと思いますが、公式戦ということで、非常に楽しみにしています。でも時期的にはちょっと早いですね。いつもは公式戦の県大会が始まるのは5月くらいからですし、試合時間も40分ハーフと長いです。だから楽しみの面もありますけど、どうなるかやってみないとわからないというもあります。

U-15リーグは、基本的にはいわゆるトップチームで臨みますか。

名取 はい。そういう意味では3年生がいま14人しかいませんから、間違いなく2年生にはチャンスですね。

まだ誰が中心というのが見えない感じですが。

名取 でも引っ張っていくのは去年から試合に出ている選手が中心になってくれないと。言葉というよりもプレーで引っ張ってってもらいたいです。し

かし、リズムが悪いときにチームに喝を入れるような奴がないので、それは今後出てきてほしいです。そう言ったときにはチームがまた強くなっていくのかなと思います。

チームの形はできつつありますか。

名取 両サイドバックの攻撃参加が昨年までに比べて物足りないですね。今は守備で目いっぱいという状態なので。サイドバックの攻撃参加はレッズの一つの形ですから。でもまだメンバーは固定したくないし、この選手はこっちのポジションの方がいいかもということもあります。一人でいくつかのポジションをこなせるようになっていきますからね。

毎年、新しいチームで、春の最初の試合を見るのが楽しみです。

名取 僕らも毎年わからないところはあります。去年も「今年は本当にやばいかな」と思いましたが、最後はここまで行けるのか、というところまで成長しましたね。やってみないとわからない楽しさがあります。本当に面白いので、この1年。

後半の攻勢に手ごたえ

西山航平

鈴木大輝



清水慎太郎



矢島慎也



磯部裕基

関東U-15リーグ	
2007.4.15(日) 10:00 レッズランド	
レッズ ジュニアユース	1 前0 後1 VS 前0 後1 JEF千葉 習志野
中島聡志	GK
小出啓太 (鈴木悠太)	DF
町山阿記 岡本拓也 西山航平	
矢島倫太郎	MF
若井祥吾 広瀬健太 磯部裕基	
鈴木大輝	FW
矢島慎也 (清水慎太郎)	
鈴木大輝(47分) 得点	

ACTION RESULT

ジュニアユースサッカー in ACHI (3/27~29、三好旭G、他)

【予選リーグ】

- 1 - 0 清水エスパルス
得: 広瀬
- 0 - 0 (PK5 - 4) サンフレッチェ常石
- 1 - 1 (PK5 - 4) グランパス三好
得: 広瀬
- 0 - 0 (PK5 - 4) 三菱養和

【準決勝】

- 1 - 1 (PK4 - 5) 名古屋グランパス
得: 若井

【3位決定戦】

- 1 - 2 京都サンガ
得: 鈴木大

GUNMA CHALLENGE U - 13 (3/27~29)

【予選リーグ】

- 1 - 0 ヴィヴァイオ船橋
得: 矢島慎
- 4 - 0 鹿島アントラーズノルテ
得: 矢島慎、遠藤、関口、平澤
- 1 - 1 (PK3 - 4) 横浜 FC鶴見
得: 矢島慎

【2位パート順位リーグ】

- 4 - 0 ベガルタ仙台
得: 矢島慎、中村、平澤、野崎
- 0 - 1 大宮アルディージャ

【順位決定戦】

- 2 - 3 清水エスパルス
得: 矢島慎、平澤

* 48チーム中 10位で終了

清水フェスティバル (3/26~29・清水総合G、他)

【予選リーグ】

- 2 - 2 玉野光南高
得: 林 2
- 5 - 1 清水商業高
得: 宮川 2、鈴木 2、池田
- 2 - 1 鹿児島実業高
得: 鈴木、高垣

【3位決定戦】

- 1 - 1 (PK4 - 3) セレッソ大阪
得: 宮川

浦和カップ

(4/2~5・駒場サブG、他)

【予選リーグ】

- 2 - 2 旭高
得: 大野、阪野
- 3 - 0 浦和東高
得: 福島 2、山崎
- 3 - 2 伊勢崎商業高
得: 池西、小峰、岡田

【順位リーグ】

- 4 - 3 三菱養和 SC
得: 石沢 2、大里、利根川
- 1 - 1 市立浦和高
得: 宮川

【3位決定戦】

- 1 - 0 大宮アルディージャ
得: 阪野

彩の国カップ二種クラブ代表決定戦 (4/6、レッズランド)

【2回戦】

- 13 - 0 飯能ブルーダーユース
得: 原口 5、葺本 2、利根川 2、武富 2、福島、OG

ジュニアユース 新1年生

DF 新井 純平 (あらい・じゅんぺい)	江南南SS
FW 大野 耀平 (おおの・ようへい)	高島平SC
MF 小田切敦史 (おだぎり・あつし)	さいたま道祖土SS
DF 河野 翔 (かわの・かける)	川越パンサーSS
FW カドコダイ アシカン 吾蓮 (あれん)	狭山水富FC
MF 小峯 洋介 (こみね・ようすけ)	さいたま北浦和SS
FW 金野 僚太 (こんの・りょうた)	柳崎SCジュニア
FW 西袋 裕太 (さいたい・ゆうた)	さいたま道祖土SS
GK 齋藤 賢太 (さいとう・けんた)	ジュベニール白岡SS
MF 佐藤 大介 (さとう・だいすけ)	FC東85
MF 繁田 秀斗 (しげた・しゅうと)	江南南SS
MF 相馬 慎 (そうま・まこと)	川越ひまわりSC
MF 田口翔太郎 (たぐち・しょうたろう)	さいたま芝原SS
MF 立野 峻平 (たての・しゅんぺい)	さいたま尾間木SS
MF 中村 駿介 (なかむら・しゅんすけ)	新座エースFC
MF 西澤 秀平 (にしざわ・しゅうへい)	松山SS
DF 西山 奨 (にしやま・しょう)	さいたま木崎SS
MF 平山 創士 (ひらやま・そうし)	栄SS
GK 細田 龍太 (ほそだ・りゅうた)	三俣SS
MF 水落 敬 (みずおち・けい)	さいたま西浦和SS
MF 村上 健太 (むらかみ・けんた)	さいたま沼影SS

* 右は前所属チーム

ユース 新1年生

MF 新井 貴晴 (あらい・たかはる)	大利根中学校
MF 池西 希 (いけにし・のぞみ)	レッズジュニアユース
MF 石沢 哲也 (いしざわ・てつや)	レッズジュニアユース
DF 大里 康朗 (おおさと・やすあき)	レッズジュニアユース
MF 岡田 正巳 (おかだ・まさみ)	Nomads Soccer Club
DF 加瀬 光 (かせ・ひかる)	レッズジュニアユース
MF 小峰 郁海 (こみね・いくみ)	AC FUTURO川口U-15
MF 利根川良太 (とねがわ・りょうた)	レッズジュニアユース
GK 中村 隼 (なかむら・はやと)	武南ジュニアユース
DF 長谷川 凌 (はせがわ・りょう)	レッズジュニアユース
FW 原口 元気 (はらぐち・げんき)	レッズジュニアユース
FW 葺本 啓太 (ふきもと・けいた)	レッズジュニアユース
DF 森田 健介 (もりた・けんすけ)	レッズジュニアユース

* 右は前所属チーム

プリンスリーグ第1節 ロングボールに苦戦、 終了間際に同点

(48 / 八千代高戦)

4月8日(日) 埼玉スタジアム第3グラウンドで行われたプリンスリーグ第1節・八千代高戦は、相手のロングボールへの対応に苦戦し、前半28分、先制される。後半は落ち着いて試合の主導権を握ったがなかなかゴールを割れず、ロスタイム、途中出場の原口元気のシュート気味のクロスに山田直輝が合わせで引き分けに持ち込んだ。



終了間際、同点ゴールを決めた山田直輝(中央)

プリンスリーグ 第1節				
2007.4.8(日) 11:00				
埼玉スタジアム 2002第3グラウンド				
浦和レッズ ユース	1 前0 後1	VS	1 前1 後0	八千代 高校
柴田大地	GK			
丸山和男	DF			
山田 翔				
菅井順平				
高垣大樹	MF			
(武富尚紀)				
山田直輝				
永田拓也				
(原口元気)				
矢部雅明				
山崎家光	FW			
(池田涼司)				
高橋峻希				
宮川貴司				
山田直輝 (89分)	得点			



山崎家光

高橋峻希

山田 翔



丸山和男



宮川貴司



池田涼司



原口元気



できる部分をしっかりやろう

ユース監督・堀 孝史

3月から清水フェスティバルや浦和カップなどで、いろいろ選手を試してみたようですが、いかがですか。

堀 メンバーが全員そろったということは少なかったですけど、いる選手の中で誰がやってもできるようなにいるというトライしてもらったり、同じ人間の中でも組み合わせを変えたりしてみました。

選手を形にしっかりはめるという訳ではなく、選手のそれぞれの特徴とか僕たちスタッフの印象などがあって、その中で選手の良いところが出るように、システムというよりもグループで組み合わせて、グループとグループをつなげてチームになっていくという感じでやっています。

4月8日からプリンスリーグが始まりました。高円宮杯につながるということもあるし、来年の参加資格も確保しなければならないので、当然勝ち負けにこだわる部分はあると思います。一方、この早い時期やるのはチームを固めながらという部分もありますよね。

堀 公式戦とか練習試合とかいうことに関わらず、勝負にこだわることはしていかなければならないと思っています。ただ手段を選ばないということではなくて、そういう中でも自分たちのやり方やスタイルというものを保ちつつ勝敗にこだわると。

それはチームもそうだし、個人の部分でもそうです。一対一の部分でしっかり勝負するということだったり、攻守にわたるところだったり。それと常に言っているのは、うまいへたに関わらずできることをしっかりやろうと。戦う姿勢を見せるところや、動く量、球際の強さなど、そういう小さいところの

積み重ねが、最後は勝敗につながるのではないかと言っています。

どのカテゴリーでもそうですが、最後まであきらめない気持ちは非常に重要だと思います。

堀 守備も攻撃もきれいな形でやろうとし過ぎていくところ、きれいな形でゴールにこだわり過ぎていくところもあるのかもしれない。当然、理想は求めていかなければいけないですし、そのイメージとか選手のアイデアというものは大切にしなければいけません。それで成功するならいいのかもしれませんが、やっぱり相手も真剣にやってくるのでそんなに簡単にはいかない。じゃあどうすればいいかといえば、もっと早めにシュートを打ってしまうとか、早めのタイミングで放り込んで迫力を持って飛び込んでいくとかも必要だと思います。

真剣勝負がこれから毎週あって、選手がどう変わっていくかということも楽しみです。